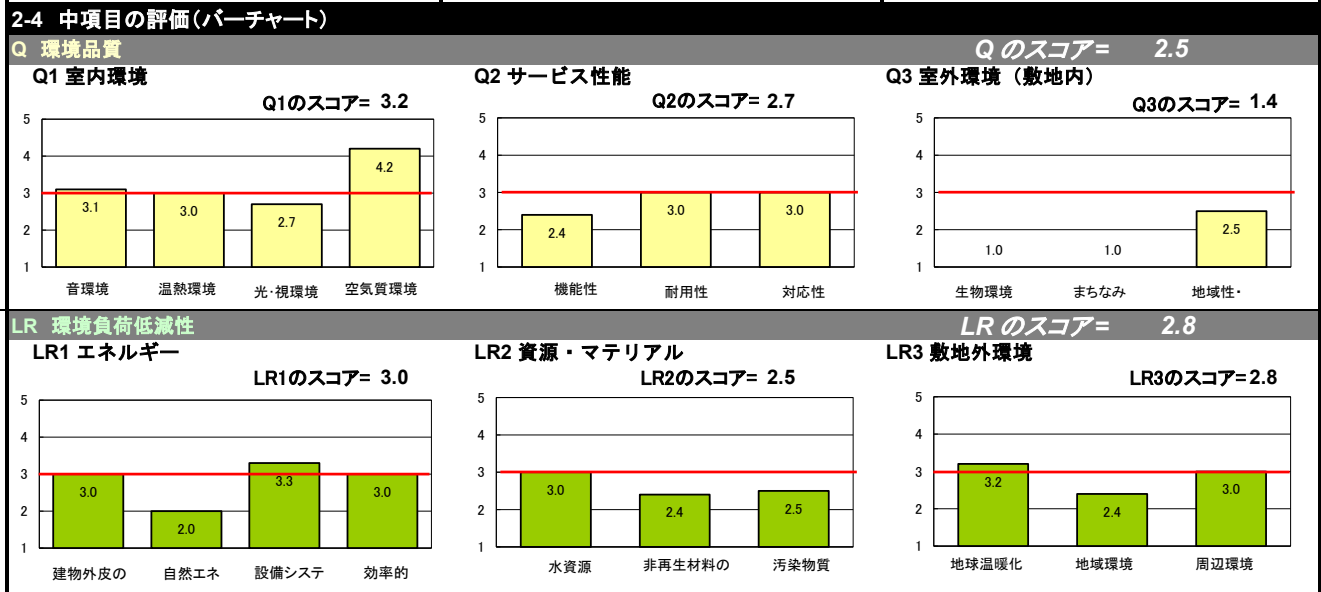
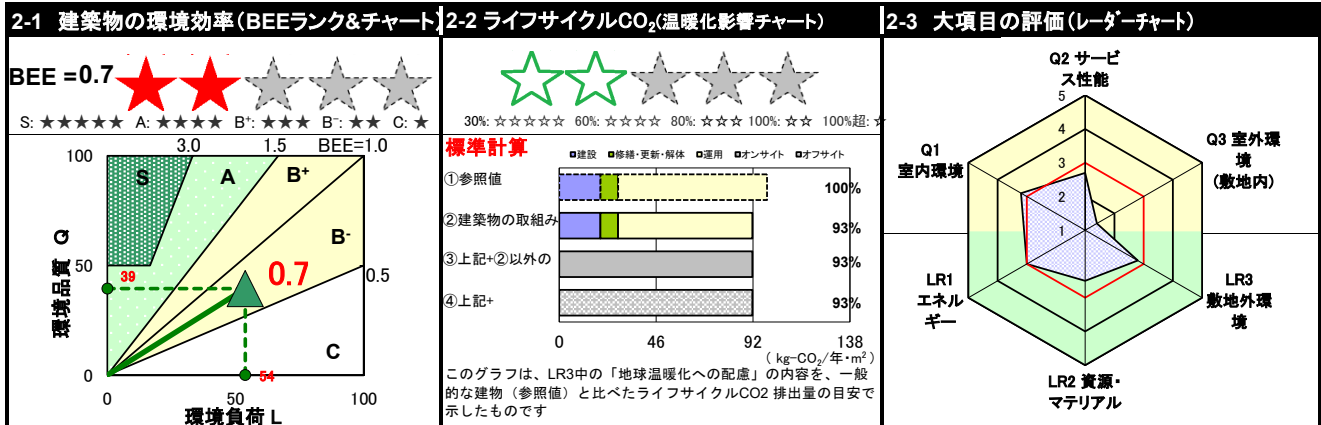




1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)エステムコート横浜松見 新築工事	階数	外観パース等(任意)	
建設地	横浜市松見町一丁目21番10(地名地番)	構造		
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2027年4月 予定	評価の実施日		
敷地面積	1,386 m ²	作成者		
建築面積	765 m ²	確認日	2025年5月14日	
延床面積	4,018 m ²	確認者	稲村 崇	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺には大きな公園があり、緑豊かで落ち着いた環境なため、自然と調和する外観・外構計画を行う。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
ユニットフロアは、LL-45(軽量衝撃音)、LH-50(重量衝撃音)を満たすものを採用した。	特になし。	敷地境界線から2mまで歩道状空を設け、歩道分離による通行の安全性を確保した。また、歩道周辺の植栽地部分に防雨型照明器具を設け、防犯性にも配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし。	特になし。	適切な量の駐車・駐輪スペースの確保に配慮した。



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

受付日 2025年5月23日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)エステムコート横浜松見新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

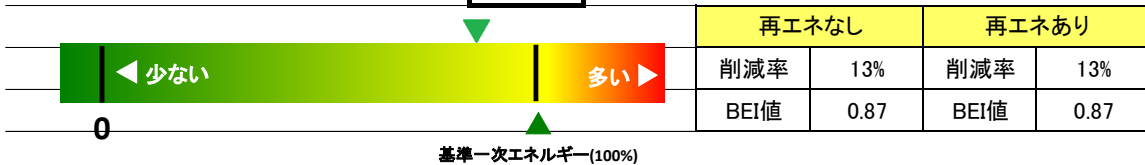
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能

この建物の設計一次エネルギー消費量 13 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

空調・給排水配管を主要な用途二以上にて、Bを使用している。且つ、Fは未使用である。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

歩道状空地・計画地周辺に植栽地をバランス良く配置した。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質				—	—	—	—	2.5
Q1 室内環境				—	0.40	—	—	3.2
1 音環境				3.0	0.15	3.2	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	—
1.2 遮音				3.0	0.50	3.5	0.50	—
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	—
2 界壁遮音性能				—	—	4.0	0.30	—
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				—	—	4.0	0.20	—
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				—	—	3.0	0.20	—
1.3 吸音				—	—	—	—	—
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	—
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63	—
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	3.0	0.38	—
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	—	—	—	—
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.20	—
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30	—
3 光・視環境				2.7	0.25	2.8	1.00	2.7
3.1 昼光利用				3.0	0.30	2.4	0.30	—
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.60	3.0	0.50	—
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	—	—	1.0	0.30	—
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	—
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30	—
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	3.0	1.00	—
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15	—
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25	—
4 空気質環境				4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63	—
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	1.00	5.0	1.00	—
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	—
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	—
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	—	—	3.0	0.33	—
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	—
4.3 運用管理				—	—	—	—	—
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	—	—	—	—	—
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	—	—	—	—	—
Q2 サービス性能				—	0.30	—	—	2.7
1 機能性				2.1	0.40	2.6	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	—
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	—	—	—	—	—
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	—	—	3.0	1.00	—
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	—	—	—
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	—
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	—	—	3.0	0.50	—
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	—	—	—	—	—
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	—
1.3 維持管理				2.0	0.30	—	—	—
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	—	—	—
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	—	—	—
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	—	—	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	—	—	—
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	—	—	—
2 免震・制震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	—	—	—
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	—	—	—
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	—	—	—
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	—	—	—
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	—	—	—
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	—	—	—
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	—	—	—
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	—	—	—
2.4 信頼性				2.4	0.20	—	—	—
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	—	—	—
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	—	—	—
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	—	—	—
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	—	—	—
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	1.0	0.20	—	—	—
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				—	—	3.0	0.50	—
1 階高のゆとり				—	—	3.0	0.60	—
2 空間の形状・自由さ				—	—	3.0	0.40	—
3.2 荷重のゆとり				—	—	3.0	0.50	—

	3.3 設備の更新性		3.0	1.00		-	-
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20		-	-
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20		-	-
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10		-	-
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10		-	-
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20		-	-
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20		-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	1.4
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40		-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50		-	-
	3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50		-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20		-	3.0
2	自然エネルギー利用		2.0	0.10		-	2.0
3	設備システムの高効率化		3.3	0.50		-	3.3
	集合住宅以外の評価			-		-	-
	集合住宅の評価		3.3	1.00		-	-
4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価			-		-	-
	4.1	モニタリング		-		-	-
	4.2	運用管理体制		-		-	-
	集合住宅の評価		3.0	1.00		-	-
	4.1	モニタリング	3.0	0.50		-	-
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50		-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.5
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1.1	節水	3.0	0.40		-	-
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60		-	-
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70		-	-
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30		-	-
2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60		-	2.4
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10		-	-
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20		-	-
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20		-	-
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20		-	-
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10		-	-
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.20		-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		2.5	0.20		-	2.5
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30		-	-
	3.2	フロン・ハロンの回避	2.3	0.70		-	-
	1	消火剤	2.0	0.33		-	-
	2	発泡剤(断熱材等)	2.0	0.33		-	-
	3	冷媒	3.0	0.33		-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	2.8
1	地球温暖化への配慮		3.2	0.33		-	3.2
2	地域環境への配慮		2.4	0.33		-	2.4
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25		-	-
	2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50		-	-
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.7	0.25		-	-
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-	-
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		-	-
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25		-	-
	4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25		-	-
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40		-	-
	1	騒音	3.0	0.33		-	-
	2	振動	3.0	0.33		-	-
	3	悪臭	3.0	0.33		-	-
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制	3.0	0.40		-	-
	1	風害の抑制	3.0	0.70		-	-
	2	砂塵の抑制	1.0	-		-	-
	3	日照阻害の抑制	3.0	0.30		-	-
	3.3	光害の抑制	3.0	0.20		-	-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		-	-
	2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	-
上記以外の重点項目				-	-	-	-
<事務所用途>				-	-	-	-
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-
<住宅用途>				-	-	-	-
健康と安心				-	-	-	-
	1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
	2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
	3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-